

2012 年 国際財政カンファレンス(専修大学社会科学研究所主催)

「地方財政の過去・現在・未来」

開催日:7月6日(金)・7日(土)

場所:専修大学 サテラサイトキャンパス スタジオ A

地図: http://www.senshu-u.ac.jp/iga/ra_tk/satellite/st_7.html

(小田急線向ヶ丘遊園駅北口 アトラスタワー向ヶ丘遊園 2 階)

日本は 1950 年代から 60 年代にかけて、20 年近く高度経済成長を遂げた。当時、世界で最も長い経済成長を記録し、戦後の廃墟から一気に経済大国に躍り出た。しかし、1991 年のバブル崩壊以降、日本経済は長期的な停滞期に突入した。この 20 年間は「失われた 20 年」と呼ばれる。この「失われた 20 年」の中で、日本では様々な制度が持続可能性を失いつつある。

これに対して、改革開放以後の中国の経済成長はすさまじく、高度経済成長期の日本よりも長い経済成長を経験し、その年平均成長率は日本を上回った。2010 年には中国の GDP は日本を超え、今やアメリカに次ぐ世界第 2 の経済大国となった。しかし一方で、地域間格差は拡大しており、また、高度経済成長期に社会保障制度が十分に整備されていないまま、急速な少子高齢化が進展している。さらに、1994 年の分税制改革と税込返還制度の導入、現在進行中の地方債制度の整備と、政府間財政関係にも大きな課題を抱えている。

このカンファレンスは、日中の研究者による学術的交流を通じて、地方財政の問題を中心に日中両国の財政制度のあり方について検討を行う。日中の研究者が経済発展目覚ましい中国における地方財政制度の現状と、日本が直面する問題を知ることによって、相互理解を深める機会としたい。

中国側の参加者

上海财经大学 公共経済与管理学院

劉 小川教授 (副院長)、蔣 洪教授、胡 怡健教授、朱 為群教授、陶 勇副教授、

宋 建敏副教授 計 6 名

プログラム ※敬称略

1日目 7月6日(金) 午前 10時～12時

開会挨拶 宮寄晃臣(専修大学社会科学研究所 事務局長)

歓迎の挨拶 原田博夫(専修大学大学院 経済学研究科長)

講演 町田俊彦(専修大学)

「日本の地方財政制度の過去と現在」

講演 蔣 洪(上海財経大学)

「中国の地方財政制度の諸問題」

1日目 午後(報告15分, 討論10分, その後自由討議) 司会: 金子 勝(慶應義塾大学)

1. 開催趣旨の説明 13時～13時15分

宮崎雅人(埼玉大学)・徐 一睿(慶應義塾大学)

2. 地方税・共有税 13時20分～14時30分

報告者 朱 為群(上海財経大学)

討論者 関口 智(立教大学)

3. 一般補助金 14時30分～15時40分

報告者 劉 小川(上海財経大学)

討論者 池上岳彦(立教大学)

4. 公的扶助 15時40分～16時50分

報告者 宋 建敏(上海財経大学)

討論者 田中聡一郎(立教大学)

2日目 7月7日(土)(報告15分, 討論10分, その後自由討議) 司会: 宮崎雅人(埼玉大学)

1. 地方債 10時～11時10分

報告者 陶 勇(上海財経大学)

討論者 井手英策(慶應義塾大学)

2. 特定補助金 11時10分～12時20分

報告者 陶 勇(上海財経大学)

討論者 沼尾波子(日本大学)

3. 地方独自課税 13時20分～14時30分

報告者 胡 怡健(上海財経大学)

討論者 青木宗明(神奈川大学)

4. 総括および9月コンファレンスに向けた問題提起 14時30分～16時

日本側 金子 勝(慶應義塾大学)

中国側 朱 為群

閉会挨拶 町田俊彦(専修大学社会科学研究所 所長)

通訳: 徐 一睿(慶應義塾大学)、宋 宇(横浜国立大学大学院)、張 穎(通訳専門家)

*中国側の報告者の順番は若干変更する可能性がある。

*問い合わせ先 専修大学社会科学研究所事務局 Tel: 044-911-1089 Fax: 044-900-7829

E-mail: shaken@isc.senshu-u.ac.jp